

文教厚生委員会会議録（要点筆記）

平成24年10月19日（金）

午前10時00分 開会

○小出義一委員長

ただ今より、文教厚生委員会を開会します。

閉会中の調査事項のうち、県外行政視察についてを議題とします。本日は県外視察の内容等についてご説明させていただきます。県外視察の視察先は以前ご報告いたしましたとおり、1日目10月30日千葉県市川市、2日目31日が午前には東京都府中市、午後には横浜市でNPO法人びーのびーの。3日目11月1日は品川区NPO法人ふれあいの家とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは視察先の概要について私のほうから説明させていただき、その後、当局から補足の説明をしていただきますので、よろしくお願いいたします。

【資料に基づき説明】

びーのびーのとふれあいの家についてと市川市、府中市の補足を当局のほうから説明をお願いしたいと思います。

○江原子育て支援課長

【資料に基づき説明】

○小出義一委員長

ありがとうございました。それでは、視察先へ送付する調査表の内容も含め、ご質疑ありましたらお願いします。

○山本博信委員

質問事項の内容に対する半田市の現状を説明していただきましたが、膨大な量になりますので、文章にしていただけないでしょうか。その資料をもとに各議員が勉強して望みたいと思います。NPO法人の状況に対しましても半田市が今どのような状況か箇条書きで結構ですから、文章にいただけませんか。

○小出義一委員長

主には子育てハンドブックで見ただけであれば、ポイントだけ整理していただけたらと思います。

○江原子育て支援課長

大変失礼いたしました。調査表に沿った形で半田市の実情を書かさせていただきます。びーのびーのとふれあいの家につきましても、同じようにこのような事が行われていて、こうした事を聞けたらというような事を出させていただきます。

○久世孝宏委員

府中市のポイント、ここが特徴的だから選んだということを教えてください。

○江原子育て支援課長

府中市につきましては、子ども家庭支援センターたちを中心に視察していただくという事で、18歳までの子どもと家庭という事で子ども家庭支援センターは2か所ございます。ここの事業の特徴としては、交流広場それから子育て家庭の総合相談。リフレッシュ保育、ファミリーサポートセンター事業こうした事業を総合的に展開をしているところ。半田市と同じような事業展開と思っておりますが、こうした所が2か所あって、幼稚園、保育園いろん

な団体を巻き込みながら、事業を行っていますので、その辺りを特徴的と思っております。

○久世孝宏委員

18歳までという年齢の高いところと半田と似ているところがポイントととらえればよいですか。

○江原子育て支援課長

今回は、未就学時の子育て家庭を中心としますけれど、18歳までのすべてを支えているということで、見どころだと思っています。

○小出義一委員長

ほかにありませんか。

【「なし」との声あり】

それでは他にないようですので、資料によく目を通していただいて当日ご質問をお願いしたいと思います。

次に移ります。正副委員長で調整させていただきました行程について、事務局から説明をいたします。

しばらく休憩します。

休憩 午前10時32分

再開 午前10時40分

○小出義一委員長

委員会を再開します。

それではよろしくお願ひします。次に半田市子育て支援に関する意識調査の結果についてを議題とします。当局からの説明を求めます。

○江原子育て支援課長

【資料に基づき説明】

○小出義一委員長

お疲れさまでした。次世代育成支援行動計画を補完する良い調査が出来たと思います。この説明に対して、ご質疑ありませんか。

○山本博信委員

Aの5の円グラフの横にあります、父母との同居は、の所がよく理解できなかったのもう一度説明をお願いします。

○江原子育て支援課長

まず、Aの5の一番上の表を見ていただくと、ここの所は複数回答でございます。回答する方を中心にどなたと一緒に住んでいるかということで、子ども、配偶者、父母。その他の中には弟や義理の誰とかいう回答でそれが計。横には保健センターからどこからとったという数で全体があり全体では複数回答で2,764。それで各々の子どもとか内訳の記載がしてあります。この結果を受けまして、回答者の同居家族につきましては、子どもと配偶者が46と42ですので、88%が子ども、配偶者と一緒にいる。今度は回答者から見た自分の父母との同居割合は5%と6%ですので計11%。実際の生のデータを集計してみますと父母との同居は176人で全体の6%。子育て家庭の94%については、核家族で子育てをしているという状況にあるというところでまとめさせていただいたものです。

○山内悟委員

アンケートお疲れ様です。回収が1,294で回収率82%です。未就園児以下の児童数は何人でしたか、数を教えてください。それと保健センターや保育園や子育て支援施設で配るとダブってアンケートを出す人も可能性としてはあると思いますが、その辺はどうでしょうか。

○江原子育て支援課長

1点目の未就園児の数でございますが、手元にはございませんので、資料を用意させていただいてお答えさせていただきます。2点目のタブルのはというところにつきましては、アンケートをお渡しする際の保護者の方のお願いの中にこういった所で配布しているので、ダブった場合は必要ありませんと伝えてありますのでダブルの回答はございません。

○小出義一委員長

わたしのほうから1点。別途詳細分析ということで何点か答えていただきました。とても興味のある内容でした。いつ頃までに分析できるか教えていただきたいと思います。

○江原子育て支援課長

今まさにこういった項目について取り組んでいただいていますし、県外視察に行かれるということもありますので、出来るだけ早くやりたいと思いますが、今日の資料も職員が徹夜で最終作業をやったような状況で、出来るだけ早くはやくやりたいと思いますが、この場でいつまでということはお断りいただきたいと思います。

○小出義一委員長

はい結構ですが、視察後の委員会までにあると後の展開が良いと思いましたが、難しいようですか。

○江原子育て支援課長

それに向けて頑張って努力はさせていただきます。

○小出義一委員長

無理な残業はしなくて結構です。その後も県内視察等も必要になってくるかと思いますが、無理に急ぐ必要はないと思います。

○中村宗雄委員

今、11月7日を目指すような話になってしまったように思いますが、実際に徹夜していただいて作ってもらった資料も「こうなんだ」程度で終わってしまうことがあるのでしたら、視察の意見集約とリンクしないのでしたら、もう少し時間をあげたほうが。11月7日と全く縛らずに、項目が広いのですぐ出来るものではないと思いますので、この場では日にちを約束せずに、今年中だとかにしてあげたほうが良いと思いますが。

○小出義一委員長

そういうつもりでお願いしましたが、出来ればという意味でしたが、やれという意味ではありませんので、この後、県内視察の打合せ等も出てきますので、その時にでも結構です。

○中村宗雄委員

逆に別途詳細の調査よりも、取りまとめてもらった意識調査から何が透けて見えたのかが知りたいと思いますが、それを7日までに示していただいたほうが良いと思います。

○江原子育て支援課長

説明、表現の仕方が悪くて申し訳ありません。私どもの思いとしましては、この調査から見えてきた事も当然付け加えながら、単純集計だけではなくやってほうが良いということで、

例えば2ページ以降になりますけれど、集計結果プラスアルファということで、下線を引いたところがございます。そういった所がこの調査から見てきた半田市の状況です。ここを中心に考えていかなければならないと思っています。

○小出義一委員長

ほかにありませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、次に移ります。

次回、視察後の委員会の開催ですが、11月7日の午後1時30分から全員協議会室で開催したいと思いますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

はい、それでは11月7日午後1時30分から全員協議会室ということでよろしくお願ひします。

視察を終えての皆さんからの意見を伺ってまいりたいと思いますので、視察後11月5日までにあらかじめご意見を事務局に提出していただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

もう1点、以前に連絡させていただきましたが、教育委員の皆さんとの懇談ですが、11月16日（金）午後2時からを予定しております。内容についてですが、いじめの問題ともう1点、亀崎幼稚園について、当局からの説明を踏まえて意見交換をしたいと思います。

このことについて、他にもというようなご意見ありましたらお願ひします。

○中村宗雄委員

先ほどの委員会のことですが、昨年度からレポート提出になってきましたが、以前はレポートを提出せず委員会で意見集約して委員会報告を作成したプロセスだったと思いますが、レポート提出になってから、その後の委員会が皆さん紙に書いたことを一通り読んでそれで終わってしまうという事になってしまふ。昨年を見てもどうも委員会を一回損をしているようなところがありましたので、何かそうではないような方法をどこまでやるかを考えていただいたほうがよいと思います、何か仕組みを考えていただきたいと思います。

○小出義一委員

いつからどのように始まったか、特別委員会で担当させていただいた時でも、レポートで出させていただいてやりましたが、まとめやすいし、話の整理が言葉だけでは十分に出来ないところが文章に残すと精査して言葉を選んで書いていただけるので、文章としてまとめていく時にもまとめやすいという事もありますので実施したいと思いますが、それ以上に深まるようなことを考えてまいりたいと思います。

教育委員との懇談の内容ですが、2点を考えておりますが、他にありましたらお願ひします。

【「なし」との声あり】

それでは、いじめの問題と亀崎幼稚園について意見交換をさせていただきたいと思います。いじめ問題につきましては、教育委員との意見交換の後、委員間で討議を行い議長へ報告したいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

○中村宗雄委員

これは議運で決またいじめのことを、半田市議会として取り組まなければいけないわけ

で、それを議運がやるか文教がやるかという中で所管だからいじめについて文教がやろうと決まったわけです。今、亀崎幼稚園の事が出てきましたが、この事というのは、このタイミングでやるべき事なのかどうかという事がひとつと亀崎幼稚園の事は、教育委員がどう思っているか、聞きたい気持ちは分かりますが、ちょっと違う施策だと思います。教育委員の方が言いだしている事でもないですし、推進者でも反対者でもないわけです。もともと今回の教育委員との意見交換会は、いじめをテーマにやるという事から始まったと思いますが、それを拡大して行っているのでしょうか。議長や議運長と話がついているのなら問題無いと思いますが。議会報告会で関心が高かったからと言って、ここに織り込んでくるのは場面が違いますか。

○山本博信委員

私はいじめの問題については十分議論を尽くしていった後に、この前の議会報告会でも亀崎の非常に大きな問題として取り上げられているので、このことについて幼稚園の責任者でもある教育委員の意見を聞く事は非常に良い事だと思っていますし、やらなければいけない事だとも私の意見としては思っています。

○山田清一委員

いいじめに関しては多くの課題があると思いますし、きっと活発な議論になると思います。亀崎幼稚園については、報告会でも非常に多くの時間を費やしたという事を考えると、中身的にもいじめが柱でありますので、亀崎幼稚園を入れる事によっていじめのほうの決着が、議論を尽くすというところまで至らない可能性も出てくるかなという心配を感じました。

○小出義一委員長

しばらく休憩します。

休憩 午前11時15分

再開 午前11時22分

○小出義一委員長

委員会を再開します。

皆さんの意見をお聞きしましたが、一緒にやるというご意見もありましたが、いじめ問題につきましては議長命でもありますし主体で時間をとるべきと、また、他の事をやったからいじめ問題の議論が少なくなったという事があってはいけませんので、議長命を大事にして、いじめ問題ひとつという事で準備していきたいと思えます。

他に何かございませんか。

○江原子育て支援課長

お時間をいただきまして、お手元にお配りしましたピンク色の資料「ストップ子ども虐待。みんなで子育て大作戦！」とクリーム色の資料「DVに関する講演会」に基づいてご説明をさせていただきます。

【資料に基づき説明】

○小出義一委員長

ご質疑はございませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、一旦休憩します。

休憩 午前11時28分

再開 午前11時30分

○小出義一委員長

委員会を再開します。

事業評価についてですが、判断理由を含めたシートを添付するというので、議員総会で決まりました。当委員会については、この判断理由のところを事業ごとに記載せずにまとめておきますので、この件について正副委員長にゆだねていただいて、まとめて提出ということでしたが、一方的に書いたもので送付して了承しろというのは少しやり方として乱暴かと思いましたが、お諮りして最終的に決めたいと思っておりますが、これについて・・・。

【「お諮りすると言われるのであれば、最初からやり直してください。」との声あり】

○小出義一委員長

この内容で提出することに異議があると言う事ですか。

○山本博信委員

諮るということは、ここでいろいろ意見交換をして作り上げるということなんです。そういうふうと言われるのであれば、最初からやってください。というのが私の意見です。正副委員長に一任をしたので、これでよろしいですかという確認でしたら賛成をしているので、異議はありませんけれども、諮るという事であれば最初からやってください。確認でしたらこれで結構です。

○小出義一委員長

気持ちとしては、確認したいという事でございます。確認したいと思っております。この内容でお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

○中村宗雄委員

要望があります。他の委員会と見比べましても、短時間で書けてなかったから、とりあえず埋めておこうと埋めた雰囲気もするんです。議会として3常任から出た時にほぼ同じくらいの質に出来たらと、建設から比べるとかなり落ちると思うんです。判断理由、評価のコメントというように、私はなっていないと思いましたが、皆さんの議論だと判断理由と評価のコメントはこういうようになるのではないですかと文案を送らせてもらったのです。私の案を委員長案してくれなんて言っているわけではなくて、この内容では少し、短時間ではこの内容かもしれませんが、諮る、諮らないと言えば博信委員の言っている事が正解です。正副にお任せしましたので、諮るものではないと思っております。ただ、他の委員会を見ると。まだ22日提出で、時間がありますので、もう少し時間をかけては。

○山本博信委員

文章を作り上げていくとなると皆さんのそれぞれの思いをひとつにまとめなければいけないので、大変な事だと思います。それで皆さんの意見がまとまった文章になっているか、確認しなければいけないのでこれも大変な事だと思います。私としては、一番いいのは全員の意見の羅列をしていただければ、ボリュームは大変多くなりますけれど、それが一番いいと思いますと私は進言させていただきましたが、こういう形になってきましたので、正副委員長に一任することに賛成しているのですが、これは了とするということで申し上げますが、本来は、出てきた意見を全部羅列しても良いと思っておりますけれど、確認されればこれで良

いと思います。

○小出義一委員長

いずれにしましても、最初に提出する形式がシートの添付がなかったということで、委員会独自の判断をした。皆さんに押し付ける意味ではないですが、そういう方向へ持っていった私の責任かと思っております。そういった意味で提出する内容のレベルが付け焼刃ということでいたらないのも、それが実力であったという事で申し訳なく思っております。この内容で提出させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

しっかり議論をするということで、手順を変えた事が大きな原因だと思っておりますので、その点については、反省してお詫びしたいと思っております。よろしくお願いします。

ほかに何かありませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、本日の委員会はこれで閉会します。

終了 午前11時35分